

大阪市の学ビ値上、文教予算削減決定を許す

12月、学文一ノストの成果を
引き継ぎ、クラ連先頭に、

學生生活

13 学生部長 16 学長訓誡立回交に勝利しよつ

政府の76年度反動的予算案糾弾を
国立大受費値上げ閣議決定糾弾を
更なる大衆収奪強化を訴すなる
全市大の学友諸君が政府独占は
昨年12月30日付で、反動的反人民
的な予算案を決定した。

この予算案はブルジョア新聞でさえ「福祉や道路計画」(朝日)と評してこの程の反動的な予算案である。政府独占のいふ不況対策は、一方で橋・道路等の公共投資を大巾に拡大し、独占へくいてや、他方で福祉・教育予算は徹底的に切り縮め、受益者負担主義の名目の下に大衆収奪を更に強化するものである。現在の政統局面を動勢人民に全面的に犠牲を転嫁するものによって乗り切らんとしている。しかし、現在の矛盾の根源が、より深い資本主義体制そのものの根やすな改、この予算案によつては止して乗り切れないし、反独占諸層はこの犠牲転嫁を承けて許しはしないだろう。すでに春国共両党を中心に反撃の叫びを準備している。我々学生も学費値上げ阻止と文藝予算大巾拡大をかかげ阻止と文藝予算大巾拡大をかかげ、この叫びに合流しよう。

12月学大スト闘争の成果を踏まえてこの連の旗の下、一月下旬学大スト体制で、学費値上げ阻止・文藝予算大巾拡大を打ち取ろう。

我々市大學生運動は、12月学大スト闘争で、その巨大な肉の真髓を暴露している。その叫びは、20クラスに及ぶ決議を背景にしていゝるが故に、この連といふクラス自治会の統一団体を構築しているが故に、強力であり戦局的である。この運動の発展段階は、市大

12月學大スト団争の成果を踏まえ
クウ連の旗の下、一月下旬學大ス
ト体制で、學費値上げ阻止、文藝
予算大巾拡大を要求取つた。

我々市大學生運動は、12月学生
とト斗争で、その巨大な闘争基盤
を構築している。その闘いは、
クラスに反ぶ決議を背景にしてい
るが故に、クラス連というクラス自
治会の統一団体を構築しているが
故に、強力であり戦局的である。
クラス運動の発展段階は、市大

学費償還に阻止の強固な意志、幾一から
 大学は誰のものか、独立の為々、反
 独立の為々、という向いへ答へ、勤労
 人民に奉仕する大学へ向け、反独立の天
 学改革を主張する文教予算の配分をめぐ
 る争いへと、同和問題、研究室の予算
 獲得、新サークルBOX予算獲得、奨
 学金拡大を始めとするスローガンを追
 求している。更にこの視点から、高橋
 する学生運動に恐怖し、大阪市財政局
 的な脅迫に対して、学生に対する管理
 強化で充てんとする当局に対して、一
 日の管理強化を許さぬ意志統一を売ち
 取らんとしている。

このような強い基礎に、クラ運は市大学費直上を目指し、文部省大巾拡大大・管理強化五項目をスロウガンにその強化発展を売ち取ろうとしている。全てのクラスはクラ運に結集して、13月1日下拘学大1スナを志向し、16日交に勝利しよう。

ワラ連を先頭に全てのワラエ自若会の
力で、13、16回文に勝利しよう。

我々は、16 學長評議會同友を、オ一
に當局が教育者として教育の村会内等
を守り、勤勞者の教育要求に應える立
場に立つのか、政府独占の反動的教育
政策・大坂市の財政的のついに屈服
するの力を強く進めて、前者の立場に
立つて學費値上げ反対聲明を出させる
場として立ち取らねばならない。わこ
に反共産主義の立場に立つて、反共の
同志をあつせんさせ、オ三に、我々の
要求に逆行し、その要求さえも弾圧せ
んとする管理強化五項目を撤回するこ
とを断固、要求せねばならぬ。

ず。我々の真の現段階を一切把握せず。16 国交を当局の收拾策動としか見る。この出来事はない。十口諸派、デモクラシーの諸君に忠告をするならば、当局が国争の收拾を意図せぬような国交は存在しない。この当局の收拾策動を分析するのは、わーに当局の論理をくつぐす明確な意識統一であり、わーに、クラス・自治会からの大衆的な圧力なのである。我々は当局が力に反動をな発言をしようとして取り込まれしはくはない。市大学費値上げを一切許さないといふ強固な意識統一の下で、学生同交を通つて、大衆的に学大・リストを準備せねばならぬ。

全ての學友諸君。
ともに前進しよう。

全ての民主的学友は民学団に結集しよう

主としての民主的勢力は民衆間に結集する。

、これまで司法権は、要約の
 又、これに、石川青島の要約
 憲法制定人と、佐山國守人
 の弾圧を進行せしめていた。
 公権警察活動禁止を規定
 した憲法事件判決の如き最高
 裁判所の判決を要するならば、上
 告審判部、即ち憲法裁判部で、
 石川青島の無期懲役刑を確定
 を行うこともまた可能に思われ
 る。これに、反響は、
 を認めるために、憲法裁判部
 期限を多くとも半年以上は、
 ひき伸ばさなくては、最高裁
 と申して、この問題を支拂い
 勤労者子弟に高等教育の保障を、
 げ、この大衆の権利を保障する
 学生、佐山國守と佐山國守の
 佐山國守と佐山國守、
 して対立するものではない。
 政府側面、勤労人民の教育
 と政治運動を不可分なものとし
 して、反響は、
 る時、それに対して、
 な反響の相手は、
 大家の教育、
 を被、
 とりわけ部落民衆であり、
 意識は、
 まるで経済的に、
 困難に、
 出たと、
 面、
 て、
 争を、
 盟人の、
 佐山國守人の、

部落解放同盟、
 同、
 て、
 る、
 を、
 取、
 可、
 者、
 の、
 我、
 主、
 の、
 中、
 決、
 山、
 日、
 皇、
 は、

労働問題

発売中！

大衆改革と結集した、
 国守人の、